

えひめ水産イノベーション創出地域

新流通システム開発と6次産業化を目指して
～持続的なえひめ水産イノベーションシステムの構築～

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…愛媛県漁業協同組合連合会、
愛媛経済同友会、四国TLO

学…愛媛大学

官…愛媛県、宇和島市、八幡浜市、
西予市、伊方町、愛南町

金…伊予銀行、愛媛銀行、愛媛信金
宇和島信金、愛媛県信漁連

地域イノベーション戦略

事業対象の本県の南予地域に面する宇和海は高い漁業生産を上げており、特に養殖業の生産高は日本一にある。本事業では、愛媛大学に新たな研究者を集積するとともに、水産業の6次産業化を担う人材を育成する。また、地元市町が推進する「宇和海水産構想」と協調し、産学官金の各機関が協力して水産業の活性化に取り組み、国内の水産系大学とのネットワークを構築して新たな流通システムの開発と水産業の6次産業化を目指します。



プロジェクトディレクター
亀岡 洋一

略歴：伊予銀行入行、平成21年11月
よぎんキャピタル代表取締役役に
就任。同24年に現職就任。

本県は全国第3位の漁業生産額を誇っていますが、近年は全国の傾向と同様に、魚価の低迷、水産物の消費の減退等の構造的な問題を抱えています。えひめ水産イノベーション創出地域では、基幹産業である水産業の活性化による地域振興に取組み、全国から新たに研究者を集積し、地域の水産業を支える人材を育成するとともに、地域の自主的な水産業振興策である「宇和海水産構想」を関係5市町と連携し、水産業の再生に向けた成功モデルを発信していきます。

事業の内容

【全体計画及び成果】

水産業の活性化を核とした地域イノベーションを推進するため、中核となる研究者を愛媛大学南予水産研究センターに集積し、宇和海の漁業が直面している課題の解決を図るために研究成果の事業化を目指しています。また、同センターに人材養成業務担当教員を配置し、社会人を対象とした水産業の6次産業化を担う人材を育成するための講座を開設しています。これまでの成果の一例として、スマの完全養殖技術の開発においては、種苗を生産し養殖技術開発のための飼育試験に取り組んでおり、クロマグロの代替種として社会的に注目を浴び、全国メディアにも取り上げられたほか、カタクチイワシの養成の事業化においては、地元漁協、漁業者との連携が進行中です。

新たな養殖魚“スマ” *Euthynnus affinis*

地方名：オボソ、ヤイトガツオなど



『カツオより、マグロより美味しい！！』

【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

(実施機関：愛媛大学)

- 1) 赤潮・魚病の早期予察技術の実用化
- 2) 地域特産品としてオオアカフジツボの種苗生産技術の開発
- 3) カツオ一本釣り撒き餌用カタクチイワシ養成の事業化
- 4) 新養殖魚種としてスマの完全養殖技術の開発
- 5) 宇和海地域における水産ビジネスモデルの構築の5つの課題解決のため、女性3名を含む5人の研究者を招へいしました。



閉校となった小学校を愛媛大学南予水産研究センター西浦ステーションとして平成25年4月に開設

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 (実施機関：愛媛大学)

(実施機関：愛媛大学)

人材養成担当教員を配置し、地域の社会人を対象とした水産業の6次産業化を担う人材を育成するため加工、流通販売等の出口を念頭においた講座を開設しています。